

《ワシミミズク》

作 家 ブルーノ・リリエフォツシュ

制作年 1905年

技 法 油彩・カンヴァス

所 蔵 スウェーデン国立美術館



スウェーデンの国民的画家ブルーノ・リリエフォツシュ(1860 -1939)は、動物画家として評価されている。キツネが狩りをする場面など、自然に生きる動物たちの姿を、臨場感を持って描いた。

本作に描かれているのは、ワシミミズクが一匹だけだが、鋭い目がまっすぐこちらに向いていて、目の前に本当にいるかのような感覚になる。リリエフォツシュは、パリ郊外の町グレー＝シュル＝ロワで、世界各地から集まった画家たちと盛んに交流。日本美術からも影響を受けたと言われている。



SOMPO美術館
Sompo Museum of Art



《コール・マルギット》

作 家 アンデシュ・ソーン

制作年 1901年

技 法 油彩・カンヴァス

所 蔵 スウェーデン国立美術館

社会と都市生活を描く画家として出発したアンデシュ・ソーン（1860-1920）は、やがて故郷スウェーデンのダーラナ地方の題材に関心をよせるようになる。この作品にみられるように、編み物をする若い女性など、日常生活の風景を描くことが多い。スウェーデンの国民的な画家ソーンは、印象派の画家として知られているが、編み物や読書をする人は印象派の画家たちの間で人気のテーマでもあった。本作は 20 世紀のスウェーデンで最も有名で最も多く複製された絵画のひとつとしても知られる



SOMPO美術館
Sompo Museum of Art